

平成28年度田原市内遺跡の発掘調査報告会

平成29年12月2日（土） 午後1時30分～

渥美郷土資料館

田原市教育委員会文化財課

田原市の遺跡

田原市は、旧石器時代から近代までの遺跡が数多く存在しています。特に縄文時代の貝塚、古代の製塩遺跡、中世の渥美窯など遺跡の宝庫となっています。

田原市では、これらの遺跡で開発などがあつた際には、発掘調査や工事立会を実施し、遺跡の記録、保存を実施しています。



田原市内の遺跡地図

発掘調査事例

○八幡上貝塚 (はちまんうえかいづか)

- ・場所 小中山町八幡上地内（小中山保育園の北）
- ・時代 古墳時代～古代中心
- ・概要 八幡上貝塚は、縄文時代から中世までの遺物が出土している遺跡です。古墳時代、古代の貝層や、塩づくりで使用した土器も見つかっています。福江分団3号車詰所建設に伴い平成28年7月5日から8月9日にかけて発掘調査を実施しました。古墳時代、古代の貝層や竪穴建物を確認しました。



○田原城跡 (たはらじょうあと)

- ・場所 田原町巴江地内 (田原城腰曲輪)
- ・時代 戦国～近世
- ・概要 田原城は、1480年頃の戸田宗光による築城以来、幕末まで続いた城です。愛知みなみ農業協同組合の田原支店建替えに伴い平成28年8月19日～9月30日にかけて発掘調査を実施しました。調査では曲輪の土積みの状況や堀を確認しました。戦国から江戸時代の陶器や瓦が出土しています。



○畠村陣屋跡・羽根貝塚 (はたけむらじんやあと・はねかいづか)

- ・場所 福江町中紺屋瀬古地内 (福江市民館前)
- ・時代 弥生時代、中世～近世
- ・概要 羽根貝塚は、弥生時代後期の遺跡で、大正時代に大量の土器が見つかり、銅鏃も発見されています。畠村陣屋跡は、大垣新田藩 (岐阜県大垣) の飛び地を管理するための陣屋でした。福江公園造成に伴い平成28年11月7日から12月20日に発掘調査を実施しました。調査では、中世以降と思われる人骨を確認しました。遺物では、弥生時代を中心とする土器が多く出土しています。



○一膳松遺跡 (いちぜんまついせき)

- ・場所 小中山町一膳松地内
(栽培漁業センター西)
- ・時代 奈良時代中心
- ・概要 田原市の西の浜海岸沿いに塩を作った遺跡が集中して所在しています。国庫補助事業として、平成29年3月22日から29日まで発掘調査を実施しました。調査では、土の高まり (マウンド) から塩作りに使用された製塩土器が多く出土しています。

